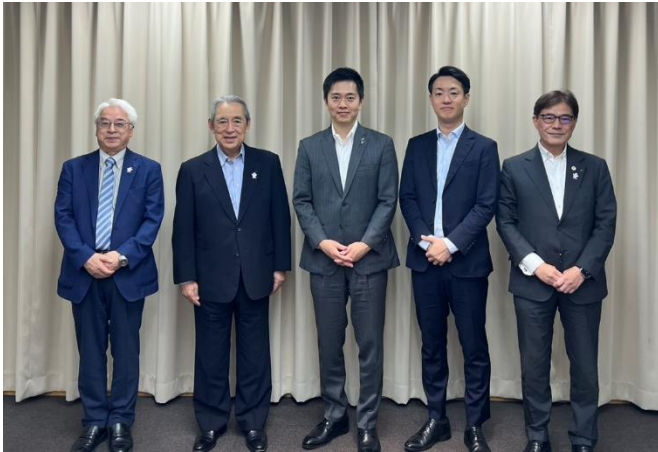


関西広域産業共創プラットフォーム News Letter

2026（令和8）年
8月末発行

● 関西広域産業共創プラットフォーム推進会議を開催しました！



会議終了後の集合写真

関西広域産業共創プラットフォーム（以下、「PF」という。）では、PF 事業を効果的なものにするため、関西広域連合の広域産業を担当する大阪府・大阪市・堺市と公益社団法人関西経済連合会のトップが意見交換を行う「関西広域産業共創プラットフォーム推進会議」を8月7日（金）に開催しました。

会議では、事務局より、令和7年度の実績と令和8年度の計画について説明を行い、出席者の委員の方々から様々なご意見をいただきました。これらのご意見を踏まえながら、さらに充実した事業推進につなげてまいります。

● けいはんなフェア2026 in OSAKAのご案内！

関西経済連合会では、関西文化学術研究都市推進機構、京都府、大阪府、奈良県とともに、「けいはんなフェア2026 in OSAKA～未来を創造する先端技術に触れる～」を開催します。けいはんな学研都市は、3府県にまたがる丘陵地帯にある、高い研究開発力と豊かな歴史文化資源に恵まれたサイエンスシティです。

当日は、大阪・関西万博で披露されたけいはんな発の技術に関する講演のほか、ゆかりのある団体や研究機関等が開発した技術紹介とその技術に触れることができます。この機会にけいはんなへの理解を深めていただき、さらなる協業につなげていただければ幸いです。是非、ご参加ください。

- 日時：2026年9月3日（木）
13:00～17:30
（12:30受付開始）
- 場所：グランフロント大阪 北館4F
ナレッジシアター
- 参加費無料
（お申込なしでもご入場いただけます）



お申込みはこちら↑

けいはんな学研都市の説明

未来に貢献する先端技術が生まれるまち「けいはんな」

奈良先端科学技術大学院大学長

塩崎 一裕氏（第5期ステージプラン検討委員会委員長）

基調講演

サイバネティックアバターを通じて考える未来社会

～アバター共生社会プロジェクト万博長期実証実験～

国際電気通信基礎技術研究所（ATR）

インタラクション科学研究所 所長 宮下 敬宏氏

シーズ紹介・体験展示会

- ・大阪電気通信大学
「ヒトの能力を現実世界で拡張するフィジカルアバターロボット」
- ・奈良先端科学技術大学院大学
「Aroma Ninja：リアルタイム嗅覚フィードバックを用いたVRスライシングゲーム」
- ・知能技術
「考えるAIから、働くAIへ！
～身体を持ったフィジカルAIが、現場を変える！～」
- ・情報通信研究機構
「言語の壁を越える円滑なコミュニケーションの実現」
- ・Veritus
「より質の高い論文を投稿し、より多くの研究費を獲得」
- ・和束町
「お茶と人が共に暮らす『茶源郷和束』」
- ・関西文化学術研究都市推進機構



詳しくはこちら↑

～事務局便り～

日本列島の各地で猛暑や豪雨が発生するなど、不安定な天候が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。調べてみますと、8月下旬までの台風発生件数は21個と、例年の約1.5倍だそうです。新たな発想で災害への強靱性を高める必要性を感じます。

さて、先月号では、局所的なダメージを全体の力で補いながら修復することの重要性和、そのためには広域的な連携が有効であると書きました。実は、これを実践しながら生き延びている生物が、私たちの身の回りに存在する「粘菌（ねんきん）」です。

粘菌は、平時にはアメーバ個体としてそれぞれが自律分散的に行動しますが、非常時には数十万もの個体が一斉に集合し、あたかも一つの巨大生物であるかのように振る舞います。例えば、大きな谷を越えて移動するなど、驚くべき行動を見せます。また、必要に応じて利他的（自己犠牲的）な行動を取ることもあります。

当PFは、局所的な「小さな相談」を関西広域の総合力で解決し、「大きなチャンス」へと変えることをモットーに活動していますが、粘菌はそのモデルといえるかもしれません。相談件数も着実に増加しています。粘菌モデルを信じて事務局一同尽力してまいりますので、引き続きご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

公設試発！News

和歌山県工業技術センター 業務報告会



工業技術センターの
各種取組について紹介いたします。

- 日 時：令和8年 **10月9日(金)** 13:30～17:30
- 場 所：和歌山県工業技術センター（和歌山市小倉 60）
研究交流棟 6 階 紀ノ川テクノホール・研修室
- 参加費：無 料（事前の参加お申込みをお願いします。）

食品開発に係る取組、化学分野等での技術開発、環境技術や材料技術、情報分野や自動化関連の取組、業界分野での取組などを紹介いたします。

※詳しくは和歌山県工業技術センターのホームページをご覧ください。
<https://www.wakayama-kg.jp/news/2026/08/r08-ghk.html>

AOCS バイオテクノロジー部門 功労賞を受賞しました

（地独）大阪産業技術研究所



生物・生活材料研究部 渡辺 嘉 総括研究員がBiotechnology Division Achievement Award(バイオテクノロジー部門 功労賞)を受賞しました！
（授与日：令和8年5月4日 / 発行団体：American Oil Chemists' Society）

渡辺嘉氏は、長年、脂質工学分野を牽引してきました。特に油脂の位置特異的分析法を開発し、日本油化学会基準油脂分析法2.4.5および米国油化学会公定法（Joint JOCS AOCS Official Method Ch 3a-19）に認定され、国際標準化を主導しました。

さらにバイオディーゼルを製造する、実用的な無溶媒酵素法の確立やオメガ3脂肪酸濃縮、油脂中の微量安全懸念物質分析でも多大な業績を上げ、学術・産業の両面での貢献を果たした功績が評価されました。AOCS理事や学会誌編集委員も務めています。

【お問い合わせ先】（地独）大阪産業技術研究所
生物・生活材料研究部 脂質工学研究室 渡辺 嘉 yomi@orist.jp

AI×ものづくり意見交換会を実施しました

京都府中小企業技術センター



8月27日（木）、京都府内の航空宇宙関連ものづくり企業グループ「京都航空宇宙産業ネットワーク（KAIN）」が主催する会員企業向け教育イベント「KAINES」の場をお借りし、AIスタートアップ企業とものづくり企業が直接意見交換を行う「AI×ものづくり意見交換会」を開催しました。

当日はKAIN会員企業の役員や従業員を前に、AI活用を先行する会員企業による大規模言語モデルの学習の仕組みを踏まえた情報漏洩リスクの解説と、京都府内のAIスタートアップ企業による自社技術や現場導入案の紹介が行われました。講演後は意見交換を行い、参加者の現場課題に対する解決策を議論いたしました。

当センターでは、AI・ロボティクスの社会実装が加速する時代を見据え、ものづくり中小企業の現場課題解決支援と府内AIスタートアップ企業の成長促進の両立に取り組んでまいります。AI導入に関するお悩みは、当センターまでご相談ください。

- KAIN会員：（株）寺内製作所、川崎機械工業（株）、（株）草川精機、（株）KOYO熱練、コニセイコー（株）、（有）東洋精機製作所、（株）中金、（株）西川製作所、平和電機（株）
- 登壇企業：（有）東洋精機製作所、（株）ノーコードソリューションズ、（株）Ready to Bloom
- 公的機関：京都府、（公財）京都産業 2 1、京都府中小企業技術センター

【お問い合わせ先】京都府中小企業技術センター 企画連携課

TEL：075-315-9506 / FAX：075-315-9497

E-mail: kikaku@kptc.jp

ロボットSI基礎講座を開講します

徳島県立工業技術センター

ロボット・自動化システムの構想設計から導入・運用・保守までの一連の工程を理解し、製造現場でのシステム構築を担う「ロボットSI（システムインテグレータ）」について学んでいただく講座を開講します。

■カリキュラム 全6回 各回 13:10～17:05

	第1回 10/7 (水)	第2回 10/14 (水)	第3回 10/21 (水)	第4回 10/28 (水)	第5回 11/4 (水)	第6回 11/11 (水)
講師	ものづくりテラス 代表 林 芳剛 氏 (※) 進産基株式会社 取締役 オートメーションカンパニー 社長 野口 栄美 氏	令和リスタート株式会社 創業者・代表 久松 謙吾 氏	ヒューマテックジャパン株式会社 代表取締役 永井 伸幸 氏			
13:10～14:05	生産技術概論	保有していただきたい能力	機械設計	電気設計	技術者倫理と法知識	構想設計ワーク ショップ
14:10～15:05	生産技術概論	プロジェクト管理と 営業技術	機械設計	電気設計	リスクアセスメント	構想設計ワーク ショップ
15:10～16:05	生産技術概論	ロボット導入事例紹介 /実機デモ (※)	機械設計	ロボット制御	構想設計ワーク ショップ	構想設計ワーク ショップ
16:10～17:05	品質管理	ロボット導入事例紹介 /実機デモ (※)	機械設計	ロボット制御	構想設計ワーク ショップ	構想設計ワーク ショップ

■場所 徳島県立工業技術センター 2階 講堂
（徳島市雑賀町西開11-2）

■対象者 製造現場でロボットシステムの構想、導入、運用、保守などに
従事されている方やそれらの知識を身につけたい方、など
新人教育にもおススメです

■定員 40名【先着順】

主 催：徳島県
協 力：日本ロボットシステムインテグレータ協会（Sier協会）
問合せ先：工業技術センター 池田、松原（電話：088-635-7905）
※本セミナーは、公益財団法人JKAの補助を受けて実施しています。



※参加無料
※詳細はこちらをご確認ください。

<https://www.itc.pref.tokushima.jp/docs/1573.html>